

推薦の辞

ECMO (extra corporeal membrane oxygenation) のバイブルであり “Red Book” として知られている ECMO: Extracorporeal Cardiopulmonary Support in Critical Care (4th Edition) が、日本の ECMO プロジェクトのメンバーにより翻訳が進められ、1 冊の本としてここに出版される運びとなりました。

心肺停止や循環不全に対して ECMO を用いる蘇生は ECPR と呼ばれ、世界のなかでも日本で最も多く行われており、PCPS (VA ECMO) という名称も使われています。一方、呼吸不全で用いる VV ECMO に関しては施設によっては経験が少なく、2009 年に発生した H1N1 インフルエンザ流行に伴う呼吸不全では日本の ECMO による救命率は低く、その現実が浮きぼりにされました。

最近、海外や日本の進んだ施設では、ECMO 治療を受けている患者がリハビリテーションを受ける、家族とトランプをして楽しむ、新聞を読むなど、これまでには考えられなかつたような治療の進歩が起きています。

海外では “lung dialysis”, “pulmonary dialysis” などの用語が使用されており、まるで腎不全に対する血液透析を行うスタンスで ECMO 治療が行われ始めています。今後、日本でも大きく飛躍する領域と考えられます。

しかしながら、ECMO 治療は医師ならば誰でも行えるというものではなく、安易に行えは、ECMO という治療そのもののリスクは決して低くありません。その解決のために十分な知識と経験は必須です。この翻訳書は、世界の ECMO に関する研究と臨床での理論と実践、具体的な管理法や技術、その裏づけとなる理論を解説するものです。

本書は、ECMO に関する歴史、生理学、活動する団体の紹介から始まり、ECMO の回路構成、カニュレーション、モニタリング、抗凝固と出血、鎮痛、鎮静、体温管理などの管理方法について記載されています。そして、ECMO の適応疾患、病態に限らず、携帯人工肺、移植医療にも言及し、ECMO の応用編も加わって、幅広い観点から書かれた大作となっています。ECMO 診療にかかる医師のみならず、看護師、臨床工学技士、理学療法士、薬剤師等々、医療関係者にとって必須の教科書といえるでしょう。

日々、重症患者の救命に勤しむ医療者のプロジェクトチームにより成した翻訳本です。尽力された訳者の方々の労をねぎらうとともに、本書が大いに関係者の役に立ち、ひいては、わが国の循環不全・呼吸不全などの救命率の向上につながることを信じております。

2015 年 1 月 15 日

一般社団法人日本呼吸療法医学会理事長 川前 金幸
一般社団法人日本集中治療医学会理事長 氏家 良人

監訳の序

このたび、ELSO (Extracorporeal Life Support Organization) が出版している ECMO: Extracorporeal Cardiopulmonary Support in Critical Care (4th Edition), 通称 “Red Book” の日本語翻訳本を出版するに至った。なぜ Red book と呼ばれているかというと、原書の表紙が赤いからである。世界的な通称として定着しているこの本の日本語訳を手がけられたことは、わが国の ECMO 療法にとって意義のあることと思う。

2009 年、新型インフルエンザ (H1N1) のパンデミックにより世界は大混乱に陥った。このとき、多くの重症呼吸不全患者が ECMO により救命されたことが判明し、呼吸不全に対する ECMO 治療について私自身も再考させられた。そこで、われわれは新型インフルエンザに対するわが国での ECMO 治療成績を調査した。結果は非常に残念なもので、生存率は欧米諸国のはずか半分であった。理由は管理方法、器材など多岐にわたっており、これを改善させるためには積極的な行動が必要と感じた。それを実行するために、日本呼吸療法医学会・日本集中治療医学会による ECMO プロジェクト（委員長：竹田晋浩、担当理事：落合亮一、坂本哲也）がスタートした。

ECMO プロジェクトは多くの活動を行っているが、経験の少ない呼吸不全に対する ECMO 治療を改善させるためには、基本的な事項を学ぶことは必須であり、またそれは各自が行わなくてはならない。この Red Book は ECMO を学ぶためには最適な教科書である。しかし、多くの医療関係者がストレスなく読むには、どうしても英文原著ではなく翻訳本が必要であった。

そこで、このたび ECMO プロジェクトが中心となり、Red Book の翻訳を行うことになった。多くの医療関係者の協力のもと翻訳が進められ、一冊の本としてここに出版できることになり、大変うれしく思っている。なお、図表は日本語の表現が難しい部分が多くあり、また原文のほうが理解しやすい箇所もあったので、あえて翻訳していない。また索引がないので、略語表を充実させた。

本書が、わが国での ECMO の治療成績改善に貢献することを期待している。

2015 年 1 月 15 日

ECMO プロジェクト委員長（日本呼吸療法医学会・日本集中治療医学会）

日本呼吸療法医学会副理事長

日本医科大学付属病院外科系集中治療科特任教授

竹田 晋浩

日本語版発行にあたって

2009～2010年の新型インフルエンザの世界的流行に際して、重症呼吸不全の治療成績を一躍高めたのは、ECMOの導入であった。このため、2012年に行われたARDSのコンセンサス会議（いわゆるベルリン定義）においても、最重症型ARDSの治療方針にECMOが明記されるに至った。しかし、こうした先進的な治療は、地道な努力の積み重ねによるもので、その結果として国際的な組織であるELSOが1989年に形づくられた。

2014年10月現在、ELSOに登録されているECMOセンターは全世界では約1,000施設にのぼり、新生児呼吸不全センターが160施設、小児呼吸不全センターが195施設、成人呼吸不全センターが187施設、循環器センターが253施設、ECPRセンターが202施設登録されている。

2012年の7月、メルボルンで行われていた体外循環学会で、Asia-Pacific ELSOという地方会の創設について議論されたが、わが国からは、ECMOプロジェクトの竹田、市場、清水、そして落合が会議に参加した。この会議にはオーストラリア、ニュージーランド、シンガポールに加えて、日本、韓国、台湾、香港などのアジアの一部の代表が参加し、満場一致で地方会の創設が認められた。

そして、第1回のAsia-Pacific ELSO（APELSO）学術総会が2013年10月に北京で開催され、多くの参加者が集まり成功裏に終了した。2年ごとに開催されるAPELSOは、2015年に京都で第2回大会が開催される予定である（日本呼吸療法医学会との併設で、落合が会長を担当）。今後、わが国におけるECMO治療の拡大に大いなる弾みがつくことを期待している。

ELSOが標準的なテキストとして“Red Book”を刊行して以来、世界中でECMOに関するバイブルとして用いられているが、チーム医療として多職種の参加が必須のECMO治療において、誰もが読むことのできる日本語版テキストが待望されていた。そこで、全国の有志がボランティアでRed Book翻訳を行い、本書を発行できるようになったのである。本稿をもって、全国の有志の皆様に厚くお礼を申し上げる次第である。

なお、本書は、厚生労働科学研究費（落合亮一：H26-循環器等実用化一般-016）により発行した。全国でECMO治療に日夜、励んでおられる皆様の一助となれば幸いである。

2015年1月15日

ECMOプロジェクト担当理事（日本呼吸療法医学会）

東邦大学医学部麻酔科学講座教授

落合 亮一

献辞

この“レッドブック”第4版を、
ビリー・ルー・ショート医師と
P・パール・オールーク医師に
捧げる。



ビリーとパールは、30年もの間、新生児・小児医療におけるリーダーであり、ECMOの開拓者（今や象徴ともなっている）であり、ライフサポート・コミュニティにとっての親愛なる友人です。そして2人は、互いの親友でもあります。彼女たちは、1984年にChildren's Hospital National Medical Center (CNMC) (国立こども医療センター)でECMO conferenceを立ち上げましたが、これは現在継続しているECMO conferenceのなかで最も古いもので、何十年にもわたって参加者を魅了してきました。当時、新生児医がECMOに対して懐疑的であったにもかかわらず、彼女たちは臨床研究を行い、懐疑的な興味の対象にすぎなかった新生児ECMOを標準的な治療手段に確立させ、その過程で何千人の子供の命を救ったのです。

ビリー・ルー・ショート (Billie Lou Short) は、自身のほとんどの職歴をワシントンDCのCNMCで過ごしました。現在は、CNMCとジョージ・ワシントン大学医学部で新生児科の部長をしています。彼女は同僚とともに1984年にCNMCでECMOプログラムを立ち上げました。このプログラムは、何十年もの間、新生児ECMOの臨床、教育および研究における最前線にありました。ビリーはまた、新生児ECMO患者の脳損傷と脳機能に関する研究のパイオニアです。ペニー・グラス (Penny Glass) とともに、ECMO患者のフォローアップ研究を何年間にもわたって着実に行い、それを報告してきました。

P・パール・オールーク (P. Pearl O'Rourke) は、Children's Hospital Boston (ボストン小児病院)で1986年にECMOプログラムを立ち上げました。彼女は、新生児重症呼吸不全で2回目のECMOの前向き無作為化比較試験を行い、最初の試験の結果を裏づけました。パールは小児集中治療医であり、1988年、ボストンからSeattle Children's Hospital (シアトルこども病院)に異動し、そこでもECMOプログラムを立ち上げました。また、エドワード・ケネディ上院議員のアシスタントとして、政府のヘルスケア政策の専門家を1年間務めました。現在は、ボストンのPartners HealthCare [Massachusetts General Hospital (マサチューセッツ総合病院), Brigham and Women's Hospital (ブリガム・アンド・ウイメンズ病院), Children's Hospital Boston (ボストン小児病院)]において、コンプライアンスと臨床研究の責任者です。



われわれ編集者と ELSO 運営委員会は、小児科学、集中治療医学、そして何千人の患者に多くのものをもたらした、素晴らしい臨床家かつ研究者として、この 2 人を誇りに思います。

ビリーとパール、ありがとう！

第4版への序

1995年に、ECMO “Red Book” の第1版が発行されて以来、本書は ECMO 治療についての標準的な教科書であり続けた。同時に、最終版が 2005 年に発行されて以降、生命維持の長期化について多くの進歩がなされてきた。安全性を高め、簡素化し、ECMO 治療を改善した新しい機器が使用可能となつたため、私たちはこの新しい時代を ECMO II と呼んでいる。ECMO II の時代には、訓練を積んだ ICU 看護師が治療を行えるため、小さなコア・チームが複数の ICU で、多くの患者を同時に治療することが可能となった。機器、技術的問題、チームトレーニング、経済的問題についての章を設けることができたのも、ECMO II という時代を反映したものである。

ELSO は 2007 年に、患者管理のガイドラインを初めて発行したが、本書は最新のガイドラインをもとに書かれている。2009 年に生じた H1N1 インフルエンザの世界的流行時に、重症患者の管理に ECMO 治療が成功を収めた。成人の集中治療医のなかで、ECMO に対する興味が再燃し、成人の呼吸不全に対する ECMO 治療が急速に広がった。ECMO 患者を起床させることから、抜管し、歩行すら可能となった。それは、最初、肺移植患者で可能となつたが、最近では ARDS 患者でも可能である。この第4版は、これらすべての変化を反映し、開発途上の最先端技術も特集している。

過去の Red Book と同様、学術的協力の精神で、すべての図、表、あるいは文章でさえも、出版許可なしに科学論文に引用してもかまわない（出典を明記することが条件）。この教科書を書くために、自身の時間と知恵を共有した ECMO 社会のエクスパートたちに、私たちは、心より感謝を申し上げる。

Gail Annich (ゲイル・アニッチ)

Graeme MacLaren (グラエム・マクラーレン)

執筆者一覧

| | |
|---|---|
| Patrick F. Allan MD Lieutenant Colonel, US Air Force Department of Pulmonary, Critical Care, and Sleep Medicine Wright-Patterson Medical Center Wright-Patterson Air Force Base, OH | Patrick D. Brophy MD Associate Professor Director Division of Pediatric Nephrology, Dialysis and Transplantation University of Iowa University of Iowa Children's Hospital Iowa City, IA |
| Christopher S.D. Almond MD MPH Associate in Cardiology Heart Failure and Transplant Services Boston Children's Hospital Assistant Professor of Pediatrics Harvard Medical School, Boston, MA | Kate L. Brown MPH MRCPCH Consultant Cardiac Intensive Care Great Ormond Street Hospital for Children NHS Trust Honorary Senior Lecturer Institute of Child Health University of London London, United Kingdom |
| Gail Annich MD MS FRCP(C) Associate Professor Pediatric Critical Care Medical Director of PICU Director of Pediatric ECMO Director of Pediatric CPR/RRT C.S. Mott Children's Hospital University of Michigan Ann Arbor, MI | Holger Buchholz MD Clinical Assistant Professor Division of Cardiac Surgery Director Pediatric Artificial Heart Program Adult Artificial Heart Program Pediatric Heart Failure Program University of Alberta, Stollery Children's Hospital and Mazankowski Alberta Heart Institute Edmonton, Alberta, Canada |
| Matthias Arlt MD Head of Cardiothoracic Anesthesia Department of Anesthesia University Hospital Regensburg Airmedical Service Regensburg Regensburg, Germany | Warwick Butt FRACP FCICM Director ICU Royal Childredns Hospital Associate Professor Department of Paediatrics University of Melbourne Melbourne, Australia |
| Robert H. Bartlett MD Professor of Surgery, Emeritus University of Michigan Ann Arbor, MI | Jeremy W. Cannon MD, SM, FACS Director, Adult ECLS Program Lieutenant Colonel, US Air Force San Antonio Military Medical Center San Antonio, TX |
| John Beca FCICM FRACP Clinical Director, PICU Starship Children's Hospital Director of ECMO Starship Children's Hospital and Auckland City Hospital Auckland, New Zealand | Robin Chapman RN Corporate Quality University of Michigan Health System |
| Desmond Bohn MB FRCPC Department of Critical Care Medicine The Hospital for Sick Children Toronto, Canada | John Chuo MD Assistant Professor of Pediatrics Perelman School of Medicine, University of Pennsylvania Neonatal Quality Informatics Officer Children's Hospital of Philadelphia Philadelphia, PA |
| Susan L. Bratton MD MPH Professor of Pediatrics University of Utah Division of Pediatric Critical Care Medicine Primary Children's Medical Center Salt Lake City, Utah | |

| | |
|--|---|
| Steven A. Conrad MD PhD FCCM Medical Director, Extracorporeal Life Support Program Professor of Medicine, Pediatrics, and Emergency Medicine Louisiana State University Health Sciences Center Shreveport, LA | Geoffrey M. Fleming MD FAAP Medical Director Pediatric ECMO Assistant Professor of Pediatrics Division of Pediatric Critical Care Vanderbilt University School of Medicine Nashville, Tennessee |
| David S. Cooper MD MPH Associate Director, Cardiovascular Intensive Care Unit Director, Cardiac ECLS Program Cincinnati Children's Hospital Medical Center Assistant Professor of Pediatrics University of Cincinnati College of Medicine Cincinnati, Ohio, United States | James D. Fortenberry MD FCCM FAAP Pediatrician In Chief Children's Healthcare of Atlanta Professor of Pediatrics Division of Pediatric Critical Care Medicine Emory University School of Medicine Atlanta, Georgia |
| Timothy T. Cornell MD Assistant Professor Division of Pediatric Critical Care Department of Pediatrics and Communicable Diseases University of Michigan Ann Arbor, MI | Edward B. Goldman JD Associate Professor of Obstetrics and Gynecology Director of the Program in Sexual Rights and Reproductive Justice University of Michigan |
| Marcelo Cypel MD MSc Assistant Professor of Surgery University of Toronto Division of Thoracic Surgery Toronto General Hospital University Health Network | Jonathan Haft MD Medical Director, Extracorporeal Life Support Program Assistant Professor of Cardiac Surgery and Anesthesia University of Michigan Health System Ann Arbor, MI |
| Heidi J. Dalton MD FCCM Chief, Critical Care Medicine Professor of Child Health University of Arizona College of Medicine/Phoenix Phoenix Children's Hospital Phoenix, AZ | William E. Harris CCP FPP Chief Perfusionist Ochsner Medical System New Orleans, Louisiana |
| Björn Frenckner MD PhD Professor of Pediatric Surgery Astrid Lindgren Children's Hospital Karolinska Institutet Stockholm, Sweden | Chris Harvey MBBS FRCS Glenfield Hospital Leicester, United Kingdom |
| Gail M. Faulkner RGN RSCN ECMO Co-ordinator University Hospitals of Leicester NHS Trust Glenfield Hospital Leicester, United Kingdom | Michael H. Hines MD FACS Professor of Pediatric Surgery, Cardiovascular University of Texas Medical School at Houston ECMO Director, Children's Memorial Hermann Hospital and Memorial Hermann Hospital Houston, Texas |
| Richard Firmin MBBS FRCS Glenfield Hospital University of Leicester Leicester, United Kingdom | Jennifer C. Hirsch MD MS Assistant Professor of Surgery and Pediatrics Surgical Director, Pediatric Cardiothoracic Intensive Care Unit Mott Children's Hospital University of Michigan Ann Arbor, Michigan |
| | Ronald B. Hirschl MD Arnold G. Coran Professor Head, Section of Pediatric Surgery C.S. Mott Children's Hospital |

| | |
|---|---|
| University of Michigan Ann Arbor, Michigan | Philip H. Letourneau MD Surgical Research Fellow Department of Surgery The University of Texas-Houston Medical School Houston, Texas |
| Jeffrey P. Jacobs MD FACS FACC FCCP Cardiovascular and Thoracic Surgeon Surgical Director of Heart Transplantation and Extracorporeal Life Support Programs All Children's Hospital The Congenital Heart Institute of Florida (CHIF) Clinical Professor Department of Surgery University of South Florida (USF) Saint Petersburg and Tampa, Florida | William R. Lynch MS MD Associate Professor Director of ECLS/ECMO Department of Cardiothoracic Surgery University of Iowa Iowa City, Iowa |
| Shaf Keshavjee MD MSc FRCSC FACS Surgeon-in-Chief, James Wallace McCutcheon Chair in Surgery Director, Toronto Lung Transplant Program Professor, Division of Thoracic Surgery and Institute of Biomaterials and Biomedical Engineering University of Toronto Toronto, Canada | Graeme MacLaren MBBS FCICM FCCM Director, Cardiothoracic Intensive Care Assistant Professor of Surgery and Paediatrics National University Health System Singapore |
| Tracy K. Koogler MD Associate Professor of Pediatrics Assistant Director of the MacLean Center for Clinical Medical Ethics University of Chicago | M Patricia Massicotte MD Msc FRCPC MHSc Director, Vascular Patency and Thrombosis Program Stollery Children's Hospital Professor of Pediatrics University of Alberta Edmonton, Alberta Canada |
| Kevin P. Lally MD MS Professor and Chairman Department of Pediatric Surgery The University of Texas-Houston Medical School Houston, Texas | Inger Mossberg RN Department of ECMO Astrid Lindgren Children's Hospital Karolinska Institutet Stockholm, Sweden |
| John D. Lantos MD Professor of Pediatrics, University of Missouri Kansas City Director, Children's Mercy Hospital Bioethics Center Kansas City, MO | Mark T. Ogino MD Chair, ELSO Logistics and Education Committee Associate Professor of Clinical Pediatrics Perelman School of Medicine, University of Pennsylvania Children's Hospital of Philadelphia Newborn Care Medical Director of Neonatology, Chester County Hospital Philadelphia, PA |
| Scott Lawson MS CCP Chief Perfusionist, Director of Circulatory Support Heart Institute The Children's Hospital Denver, Colorado | Erik C. Osborn MD Director, Adult ECLS Program Lieutenant Colonel, US Army Division of Pulmonary/Critical Care Tripler Army Medical Center Honolulu, HI |
| Laurence Lequier MD FRCPC Director, ECLS Program Stollery Children's Hospital Associate Clinical Professor of Pediatrics University of Alberta Edmonton, Alberta Canada | Kenneth "Palle" Palmer MD Department of ECMO Astrid Lindgren Children's Hospital Karolinska Institutet Stockholm, Sweden |

Giles J. Peek MD FRCS CTh FFICM
Director of Paediatric & Adult ECMO
Glenfield Hospital
Leicester, United Kingdom

Alois Philipp
Head Bioengineer
Department of Cardiothoracic Surgery
University Hospital Regensburg
Regensburg, Germany

Thomas Pranikoff MD FACS
Director, ECLS Program
Wake Forest Baptist Medical Center
Associate Professor of Surgery and Pediatrics
Wake Forest School of Medicine
Winston Salem, NC

Jeffrey D. Punch MD
Jeremiah and Claire Turcotte Professor of
Transplantation Surgery
Chief, Section of Transplantation
Department of Surgery
University of Michigan
Ann Arbor, MI

Alvaro Rojas-Pena MD
Research Investigator – ECMO laboratory
coordinator
Department of Surgery – Section of Transplantation
University of Michigan
Ann Arbor, MI

Peter T. Rycus MPH
Extracorporeal Life Support Organization
University of Michigan
Ann Arbor, MI

Joshua W. Salvin MD MPH
Instructor in Pediatrics
Harvard Medical School Assistant in Cardiology
Cardiac Intensive Care Unit Children's Hospital
Boston
Boston, MA

Billie Lou Short MD
Chief, Division of Neonatology
Executive Director ECMO Program
Children's National Medical Center
Professor of Pediatrics
The George Washington University School of
Medicine
Washington, DC

Jeffrey B. Sussmane MD MBA FCCM
Medical Director ECLS
Miami Children's Hospital
Miami, Florida

Denise M. Suttner MD
University of California at San Diego
Rady Children's Hospital
Clinical Professor of Pediatrics
San Diego, CA

Ravi R. Thiagarajan MBBS, MPH
Senior Associate in Cardiology
Cardiac Intensive Care Unit, Children's Hospital
Boston
Associate Professor of Pediatrics
Harvard Medical School
Boston, MA

John M. Toomasian MS CCP
Extracorporeal Life Support Laboratory
University of Michigan Medical School
Ann Arbor, Michigan

Melissa M. Tyree MD
Director, Neonatal/Pediatric ECLS Program
Lieutenant Colonel, US Air Force
Division of Neonatology
Tripler Army Medical Center and
Hanuola ECMO Program, Kapiolani Medical
Center for Women and Children
Honolulu, HI

Christina J. VanderPluyt MD
Fellow, Heart Transplant/VADs
Children's Hospital Boston
Boston, MA

Shayan Vyas MD
Fellow Critical Care Medicine
Miami Children's Hospital
Miami, Florida

Jay M. Wilson MD
Senior Associate in Surgery &
Director of Surgical Critical Care & ECMO
Childrens Hospital Boston
Associate Professor of Surgery Harvard Medical
School
Boston, MA

Vamsi V. Yarlagadda MD
Instructor in Pediatrics, Harvard Medical School
Assistant in Cardiology, Cardiac Intensive Care
Unit
Children's Hospital Boston
Boston, MA

Joseph B. Zwischenberger MD
Surgeon-In-Chief, UKHealthCare
Johnston-Wright Professor and Chairman
Department of Surgery
University of Kentucky

翻訳者一覧 (五十音順)

監修

- 市場晋吾 岡山大学病院高度救命救急センター
落合亮一 東邦大学医療センター大森病院麻酔科
竹田晋浩 日本医科大学付属病院外科系集中治療科

監訳

- 市場晋吾 岡山大学病院高度救命救急センター
織田成人 千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学
落合亮一 東邦大学医療センター大森病院麻酔科
久志本成樹 東北大学病院高度救命救急センター
小谷 透 東京女子医科大学麻酔科・中央集中治療部
清水直樹 東京都立小児総合医療センター救命・集中治療部
竹田晋浩 日本医科大学付属病院外科系集中治療科
西田 修 藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座、同病院集中治療部
橋本 悟 京都府立医科大学附属病院集中治療部

翻訳

| | | | |
|-------|---|------|---|
| 青景聰之 | カロリンスカ大学病院 ECMO センター/ 日本医科大学付属病院外科系集中治療科 | 井上 彰 | 神戸市立医療センター中央市民病院 救命救急センター |
| 赤澤賢一郎 | 湘南藤沢徳洲会病院呼吸器内科 | 井上一也 | 高松赤十字病院医療機器管理課 |
| 赤松伸朗 | 大阪市立総合医療センター中央臨床工学部 | 今井一徳 | 東京都立小児総合医療センター 救命・集中治療部 |
| 秋山 類 | 東京都立小児総合医療センター 救命・集中治療部 | 今井 寛 | 三重大学医学部附属病院救命救急センター |
| 浅香葉子 | 神戸市立医療センター中央市民病院 麻酔科・集中治療部 | 今泉 均 | 札幌医科大学医学部集中治療医学 (現 東京医科大学麻酔科学分野・集中治療部) |
| 安達朋宏 | 武藏野赤十字病院救命救急センター | 岩崎 寛 | 神戸市立医療センター中央市民病院 救命救急センター |
| 渥美生弘 | 神戸市立医療センター中央市民病院 救命救急センター | 岩下義明 | 三重大学医学部附属病院救命救急センター |
| 穴井博文 | 大分大学医学部臨床工学講座 | 岩永 航 | 仁愛会浦添総合病院救命救急センター |
| 有元秀樹 | 大阪市立総合医療センター救命救急センター | 内田千草 | 日本医科大学付属病院 ME 部 |
| 安野 誠 | 群馬県立心臓血管センター臨床工学課 | 江口智洋 | 鹿児島大学医学部救急・集中治療医学講座 |
| 飯田淳義 | 岡山大学病院高度救命救急センター | 遠藤智之 | 東北大学病院高度救命救急センター |
| 池山貴也 | 東京都立小児総合医療センター 救命・集中治療部 | 大石沙織 | 日本医科大学付属病院 ME 部 |
| 石井圭亮 | 大分大学医学部附属病院高度救命救急センター | 大村 拓 | 東北大学病院高度救命救急センター |
| 石倉宏恭 | 福岡大学医学部救命救急医学講座 | 岡田 広 | 東京都立小児総合医療センター 救命・集中治療部 |
| 磯部英輔 | 国立成育医療研究センター病院 ME センター | 岡原重幸 | 広島大学病院臨床工学部門 |
| 市場晋吾 | 岡山大学病院高度救命救急センター | 小倉崇以 | 前橋赤十字病院高度救命救急センター 集中治療科・救急科 |
| 伊藤英史 | 純真学園大学保健医療学部医療工学科 | 織田成人 | 千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学 |

| | | | |
|-------|--------------------------------|-------|--------------------------------|
| 落合亮一 | 東邦大学医療センター大森病院麻酔科 | 菅原浩樹 | 京都府立医科大学附属病院医療機器管理部 |
| 垣花泰之 | 鹿児島大学医学部救急・集中治療医学講座 | 鈴木健一 | 日本医科大学付属病院 ME 部 |
| 数馬 聰 | 札幌医科大学医学部集中治療医学 | 鈴木秀典 | 済生会横浜市東部病院臨床工学部 |
| 片岡 悅 | 東京ベイ・浦安市川医療センター集中治療科 | 鈴木裕之 | 前橋赤十字病院高度救命救急センター 集中治療科・救急科 |
| 方山真朱 | 東京女子医科大学麻酔科・中央集中治療部 | 瀬尾龍太郎 | 神戸市立医療センター中央市民病院 麻酔科・集中治療部 |
| 加藤大貴 | 湘南藤沢徳洲会病院呼吸器内科 | 高氏修平 | 市立札幌病院救命救急センター |
| 金沢貴保 | 静岡県立こども病院小児集中治療科 | 高田 裕 | 近畿大学医学部附属病院臨床工学部 |
| 川崎達也 | 静岡県立こども病院小児集中治療科 | 高野稔明 | 静岡県立こども病院小児集中治療科 |
| 川前金幸 | 山形大学医学部麻酔科学講座 | 高橋科那子 | 札幌医科大学医学部集中治療医学 |
| 黄川田弥生 | 日本医科大学付属病院 ME 部 | 高橋泰仁 | 札幌医科大学附属病院臨床工学部 |
| 岸本万寿実 | 札幌医科大学附属病院臨床工学部 | 竹内宗之 | 大阪府立母子保健総合医療センター集中治療科 |
| 京極 都 | 大阪府立母子保健総合医療センター集中治療科 | 竹田晋浩 | 日本医科大学付属病院外科系集中治療科 |
| 久木田一朗 | 琉球大学大学院医学研究科救急医学講座 | 橘 一也 | 大阪府立母子保健総合医療センター集中治療科 |
| 久志本成樹 | 東北大学病院高度救命救急センター | 田中博之 | 国立病院機構京都医療センター救命救急科 |
| 黒澤慶子 | 大分大学医学部附属病院高度救命救急センター | 田邊三思 | 大分大学医学部附属病院高度救命救急センター |
| 黒田泰弘 | 香川大学医学部附属病院救命救急センター | 谷口淳一郎 | 鹿児島大学医学部救急・集中治療医学講座 |
| 小泉 沢 | 静岡県立こども病院循環器集中治療科 | 千原伸也 | 札幌医科大学附属病院臨床工学部 |
| 後藤孝治 | 大分大学医学部麻酔科学講座 | 塚原紘平 | 岡山大学病院高度救命救急センター |
| 後藤 武 | 弘前大学医学部附属病院医療技術部 臨床工学・技術部門 | 津田雅世 | 大阪府立母子保健総合医療センター集中治療科 |
| 小林克也 | 日本医科大学付属病院外科系集中治療科 | 堤 善充 | 社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院 臨床工学室 |
| 小林忠宏 | 山形大学医学部麻酔科学講座 | 角田卓哉 | 群馬県立心臓血管センター臨床工学課 |
| 小林 匡 | 静岡県立こども病院小児集中治療科 | 寺田晋作 | 鹿児島大学医学部救急・集中治療医学講座 |
| 小谷 透 | 東京女子医科大学麻酔科・中央集中治療部 | 土井房恵 | 国立成育医療研究センター病院 ME センター |
| 近藤 豊 | 琉球大学大学院医学研究科 救急医学講座 | 豊田幸樹年 | 済生会横浜市東部病院救命救急センター |
| 齊藤 修 | 東京都立小児総合医療センター 救命・集中治療部 | 中井紀裕 | 近畿大学医学部附属病院臨床工学部 |
| 斎藤智譽 | 市立札幌病院救命救急センター | 長井勇樹 | 東京都立小児総合医療センター 救命・集中治療部 |
| 桜澤 忍 | 前橋赤十字病院高度救命救急センター 集中治療科・救急科 | 中尾慎一 | 近畿大学医学部麻酔科学講座 |
| 佐藤啓太 | さいたま赤十字病院救命救急センター・ 救急医学科 | 中川 聰 | 国立成育医療研究センター集中治療科 (ICU) |
| 佐藤哲哉 | 東北大学病院高度救命救急センター | 中田孝明 | 千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学 |
| 重光胤明 | 大阪市立総合医療センター救命救急センター | 中根正樹 | 山形大学医学部附属病院高度集中治療センター |
| 志馬伸朗 | 国立病院機構京都医療センター救命救急科 | 中野皓太 | 札幌医科大学附属病院臨床工学部 |
| 島田朋和 | 札幌医科大学附属病院臨床工学部 | 中村健太郎 | 鹿児島大学医学部救急・集中治療医学講座 |
| 清水敬樹 | 東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター | 中山祐子 | 東京都立小児総合医療センター 救命・集中治療部 |
| 清水直樹 | 東京都立小児総合医療センター 救命・集中治療部 | 那須道高 | 仁愛会浦添総合病院救命救急センター |
| 清水義之 | 大阪府立母子保健総合医療センター集中治療科 | 新津麻子 | 東京都立小児総合医療センター 救命・集中治療部 |
| 下村泰代 | 藤田保健衛生大学医学部 麻酔・侵襲制御医学講座 | 新津健裕 | 東京都立小児総合医療センター 救命・集中治療部 |
| 菅原康介 | 札幌医科大学附属病院臨床工学部 | | |

| | | | |
|-------------|---------------------------------|-------|---------------------------------|
| 新美太祐 | 藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座、同病院集中治療部 | 光家 努 | 高松赤十字病院医療機器管理課 |
| 二木貴弘 | 鹿児島大学医学部救急・集中治療医学講座 | 南 茂 | 東京女子医科大学病院臨床工学部 |
| 西田 修 | 藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座、同病院集中治療部 | 南野初香 | 静岡県立こども病院小児集中治療科 |
| 西村和修 | 高松赤十字病院心臓血管外科 | 宮 阜也 | 静岡県立こども病院小児集中治療科 |
| 庭山ゆう子 | 日本医科大学付属病院 ME 部 | 宮崎 大 | 前橋赤十字病院高度救命救急センター・集中治療科・救急科 |
| 野坂宣之 | 岡山大学病院小児科 | 宮下徳久 | 東京都立小児総合医療センター・救命・集中治療部 |
| 橋場英二 | 弘前大学医学部附属病院集中治療部 | 宮原瑠子 | 東京都立小児総合医療センター・救命・集中治療部 |
| 橋本 悟 | 京都府立医科大学附属病院集中治療部 | 宮本聰史 | 広島大学病院臨床工学部門 |
| 長谷川 豊 | 群馬県立心臓血管センター集中治療部 | 宮本昇太郎 | 鹿児島大学医学部救急・集中治療医学講座 |
| 林 久美子 | 岡山大学病院医療技術部・臨床工学部門 | 村井 映 | 福岡大学病院救命救急センター・救命・集中治療部 |
| 原澤朋史 | 前橋赤十字病院高度救命救急センター・集中治療科・救急科 | 文 一恵 | 大阪府立母子保健総合医療センター集中治療科 |
| 原田浩輝 | 鹿児島大学医学部救急・集中治療医学講座 | 元野憲作 | 静岡県立こども病院循環器集中治療科 |
| 半田麻有佳 | 済生会横浜市東部病院臨床工学部 | 本村 誠 | 東京都立小児総合医療センター・救命・集中治療部 |
| 日比野 真 | 湘南藤沢徳洲会病院呼吸器内科 | 森 勇人 | 神戸市立医療センター中央市民病院・救命救急センター |
| 一二三 亨 | 香川大学医学部附属病院救命救急センター | 森嶋俊介 | 日本医科大学付属病院 ME 部 |
| 平山敬浩 | 岡山大学病院高度救命救急センター | 森實雅司 | 済生会横浜市東部病院臨床工学部 |
| Eric Fortin | 聖マリア看護大学 | 八木克史 | 京都府立医科大学附属病院医療機器管理部 |
| 福田幾夫 | 弘前大学大学院医学研究科・胸部心臓血管外科学講座 | 安田智嗣 | 鹿児島大学医学部救急・集中治療医学講座 |
| 藤塚健次 | 前橋赤十字病院高度救命救急センター・集中治療科・救急科 | 安田英人 | 武藏野赤十字病院救命救急センター/亀田総合病院集中治療科 |
| 古別府裕明 | 鹿児島大学医学部救急・集中治療医学講座 | 安永 弘 | 社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院 |
| 別府政則 | 高松赤十字病院医療機器管理課 | 柳元孝介 | 心臓血管外科 |
| 堀口 佑 | 大阪府立母子保健総合医療センター集中治療科 | 山内英雄 | 鹿児島大学医学部救急・集中治療医学講座 |
| 本多俊治 | 大分大学医学部付属病院医療技術部・臨床工学・歯科部門 | 山口桂司 | 岡山大学病院高度救命救急センター |
| 前田 恒 | 群馬県立心臓血管センター臨床工学課 | 山下千鶴 | 鹿児島大学医学部救急・集中治療医学講座 |
| 前澤翔太 | 東北大学病院高度救命救急センター | 山下智範 | 藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座、同病院集中治療部 |
| 前山博輝 | 公立豊岡病院但馬救命救急センター | 山田漣人 | 大阪府立母子保健総合医療センター集中治療科 |
| 牧瀬 博 | 市立札幌病院救命救急センター | 山中泰弘 | 札幌医科大学附属病院臨床工学部 |
| 増井亜紗実 | 三重大学医学部附属病院救命救急センター | 行光昌宏 | 近畿大学医学部附属病院臨床工学部 |
| 升田好樹 | 札幌医科大学医学部集中治療医学 | 湯本哲也 | 三重大学医学部附属病院臨床工学部 |
| 政所祐太郎 | 鹿児島大学医学部救急・集中治療医学講座 | 吉田浩輔 | 岡山大学病院高度救命救急センター |
| 三浦慎也 | 静岡県立こども病院小児集中治療科 | 脇田亜由美 | 国立病院機構京都医療センター救命救急科 |
| 水口壯一 | 大阪府立母子保健総合医療センター集中治療科・救命・集中治療部 | 渡邊伊知郎 | 仁愛会浦添総合病院 ME 科 |
| 水城直人 | 東京都立小児総合医療センター・救命・集中治療部 | | 東京都立小児総合医療センター・救命・集中治療部 |
| 溝口貴之 | 大分大学医学部付属病院医療技術部・臨床工学・歯科部門 | | |

目次

第I部 ECLS — 総論

| | |
|---------------------------|----|
| 1 体外循環補助法の歴史と発展 | 1 |
| 伝記的な黎明期：人々 | 1 |
| ECMO の伝播 | 4 |
| 忍耐：成人 ECMO の経験 | 6 |
| 2 ECLS の生理学 | 9 |
| ECLS の生理学 | 9 |
| 正常な生理学 | 9 |
| ポンプ | 16 |
| ECLS におけるガス交換 | 19 |
| ECLS マネジメントにおける生理学 | 22 |
| ECLS 中の患者管理 | 23 |
| ウイーニングとカニューレ抜去 | 25 |
| 3 心不全：基本原理と生理学 | 27 |
| はじめに | 27 |
| 心拍出量の決定因子 | 27 |
| 代償性および非代償性心不全 | 29 |
| ECMO 下での心機能 | 29 |
| まとめ | 31 |
| 4 小児の急性低酸素性呼吸不全 | 33 |
| はじめに | 33 |
| 急性肺傷害における病態生理 | 33 |
| ARDS 管理における陽圧換気と PEEP の進歩 | 34 |
| 人工呼吸器関連肺傷害：実験的原因モデルと予防 | 35 |
| 肺酸素毒性 | 36 |
| 急性肺傷害の疫学とマーカー | 37 |
| 肺保護換気戦略の発展 | 38 |
| 急性呼吸不全に対する肺保護換気戦略のアルゴリズム | 41 |
| 換気戦略 | 41 |
| 酸素化戦略 | 41 |
| ARDS の代替的な呼吸管理戦略 | 42 |
| 高頻度換気法 | 43 |
| 高頻度振動換気法（HFOV） | 44 |
| 腹臥位換気 | 46 |
| 陽圧換気の補助 | 47 |
| 一酸化窒素吸入療法（iNO） | 48 |
| 非侵襲的人工呼吸 | 49 |

| | |
|--|----|
| ARDSに対する肺外治療 | 49 |
| 急性低酸素性呼吸不全 (AHRF)——重症度評価に基づいた治療アルゴリズムと ECMO の適応 | 50 |
| まとめ | 51 |
| 5 ECLS 中の血液と生体材料表面との相互作用 | 59 |
| はじめに | 59 |
| 正常な止血 | 60 |
| ECLS の開始：凝固経路の活性化と炎症反応 | 62 |
| ECLS 中の凝固系の活性化 | 65 |
| 6 ELSO の症例登録 | 69 |
| はじめに | 69 |
| 歴史 | 69 |
| データ集積と報告 | 71 |
| 実施 | 72 |
| 登録データのサマリー | 72 |
| まとめ | 82 |

第II部 一般的管理と成果

| | |
|--------------------------------|-----|
| 7 第II~V部への序文 | 85 |
| 第II部：一般的管理と成果 | 85 |
| 第III部：特定の患者の管理と成果 | 85 |
| 第IV部：ECLS の他の使用法 | 85 |
| 第V部：ECLS の物流管理と合法性 | 85 |
| 8 回路 | 87 |
| はじめに | 87 |
| 一般的な回路構成 | 88 |
| 回路構成の選択基準 | 90 |
| 回路構成 | 91 |
| ポンプの種類 | 92 |
| 人工肺 | 96 |
| 各社人工肺製品 | 99 |
| 回路管理 | 101 |
| 精巧な回路デザイン：シンプルで一体化したシステム | 104 |
| まとめ：回路 | 106 |
| 9 ECLS の血管アクセス | 109 |
| はじめに | 109 |
| 原則 | 109 |
| 新生児 ECLS でのカニューレ挿入 | 114 |
| 小児 ECLS でのカニューレ挿入 | 118 |
| 成人 ECLS でのカニューレ挿入 | 118 |
| 経胸壁的カニューレーション | 120 |

| | |
|--|-----|
| カニュレーションの合併症 | 120 |
| 10 ECLS 中の血流とガス交換の管理 | 123 |
| 回路部品の選択基準 | 123 |
| ECLS 中の管理 | 123 |
| ベンチレータ管理 | 124 |
| 11 ECLS 中の抗凝固と出血 | 129 |
| 抗凝固 | 129 |
| 臨床の影響 | 135 |
| 結論 | 137 |
| 12 ECLS 中の鎮痛，鎮静，筋弛緩薬，体温調節 | 141 |
| 鎮痛と鎮静 | 141 |
| 薬理学と ECLS | 141 |
| 鎮静と鎮痛の適応 | 142 |
| 鎮痛薬 | 142 |
| 鎮静 | 143 |
| 神経筋遮断薬（筋弛緩薬） | 146 |
| せん妄 | 147 |
| 体温管理 | 147 |
| 13 ECMO 中の腎機能と腎補助療法 | 155 |
| 腎機能 | 155 |
| 腎保護 | 157 |
| アウトカム（予後） | 160 |
| 結論 | 162 |
| 14 感染と ECMO | 167 |
| 疫学 | 167 |
| 微生物学的特性 | 168 |
| 予防的抗菌治療 | 168 |
| ECMO 中の感染の診断 | 168 |
| サーベイランス | 169 |
| 治療 | 170 |
| 感染を考慮した回路管理 | 170 |
| 考察 | 170 |
| 15 ECMO 中の処置 | 173 |
| 処置に関するガイドライン | 173 |
| ECMO 中の処置についてのコメント | 173 |
| 特殊処置 | 174 |
| 16 ウィーニング，トライアル，そして無益の判断 | 177 |
| 新生児患者のウィーニング | 177 |
| ECMO 中止トライアル | 180 |
| 無益 | 181 |

| | |
|----------------------------|-----|
| 第 III 部 特定の患者の管理と成果 | |
| 17 新生児の呼吸 ECLS | 183 |
| はじめに | 183 |
| 対象疾患 | 183 |
| 患者選択基準 | 184 |
| 禁忌 | 186 |
| 新生児 ECMO のモード | 188 |
| ECMO の詳細 | 191 |
| ECLS 中の管理 | 192 |
| 外科的処置 | 196 |
| 合併症 | 197 |
| 18 先天性横隔膜ヘルニアと ECMO | 205 |
| はじめに | 205 |
| 診断 | 205 |
| 管理 | 206 |
| ECMO | 208 |
| まとめ | 212 |
| 19 小児呼吸不全 ECMO | 217 |
| 導入基準 | 217 |
| 患者群 | 218 |
| 特殊な患者群に対する ECLS 適応 | 222 |
| 敗血症における ECLS | 224 |
| 禁忌 | 226 |
| 小児の ECLS 回路 | 226 |
| 患者管理 | 230 |
| 合併症 | 233 |
| ウイーニングとカニューレ抜去 | 233 |
| アウトカム（転帰）とフォローアップ | 235 |
| ECLS の終了 | 235 |
| まとめ | 236 |
| 20 小児の体外式循環補助 | 239 |
| はじめに | 239 |
| 技術的側面 | 239 |
| 適応とアウトカム（転帰） | 241 |
| 機能的単心室循環患者の ECMO | 245 |
| アウトカムと死の危険因子 | 246 |
| 結論 | 247 |
| 21 成人呼吸不全に対する ECMO | 251 |
| はじめに | 251 |
| エビデンス | 251 |

| | |
|----------------------------|------------|
| 適応基準 | 252 |
| 搬送 | 254 |
| カニュレーション | 255 |
| 回路の規格 | 255 |
| 治療プロトコール | 255 |
| ECMO スペシャリストと看護ケア | 258 |
| 結果 | 258 |
| 結論 | 260 |
| 22 成人における心臓補助 | 261 |
| はじめに | 261 |
| 一時的機械循環補助装置 | 262 |
| ウイーニング | 266 |
| 結果 | 266 |
| まとめ | 266 |
| 23 体外循環式心肺蘇生 (ECPR) | 269 |
| 定義 | 269 |
| 患者選択 | 269 |
| 技術的問題点 | 272 |
| アウトカム | 274 |
| 展望 | 274 |

第IV部 ECLSの他の使用法

| | |
|------------------------------------|------------|
| 24 小児における補助人工心臓 | 277 |
| はじめに | 277 |
| VAD の種類 | 278 |
| 小児の心移植へのブリッジとしての ECMO | 280 |
| 移植へのブリッジ目的の初期装置としての ECMO と VAD の比較 | 281 |
| ECMO から VAD への移行 | 282 |
| 単心室症例に対する VAD の使用 | 283 |
| VAD 使用時の抗凝固療法 | 284 |
| 結論 | 287 |
| 25 血漿交換療法 | 291 |
| はじめに | 291 |
| 歴史的背景 | 291 |
| 生理学 | 292 |
| アフェレシス施行方法 | 293 |
| プラズマフェレシスの適応 | 297 |
| ECMO 患者のアフェレシス | 297 |
| アフェレシス治療における特有の体液変化 | 299 |
| アフェレシス患者のケア | 299 |
| 合併症 | 301 |

| | |
|-----------------------------------|-----|
| 26 携帯型人工肺 | 305 |
| はじめに | 305 |
| 人工肺開発の歴史 | 305 |
| 人工肺のデザインと仕様 | 305 |
| 携帯型人工肺の応用 | 308 |
| 27 体外循環補助下臓器提供 | 313 |
| はじめに | 313 |
| 心臓死後ドナー（DCD）からの臓器採取のための迅速摘出法（従来法） | 313 |
| ECS 補助下 DCD 法 | 314 |
| マーストリヒトⅢ型 DCD における ECS | 315 |
| 従来の臓器摘出と比較した ECS 下 DCD | 316 |
| ECS 補助下 DCD から移植された臓器のアウトカム（成績） | 316 |
| マーストリヒトⅠ型、Ⅱ型 DCD に対する ECS | 317 |
| 脳死ドナーに対する ECS 補助 | 318 |
| 実験段階の経験 | 318 |
| 将来の方向性 | 319 |
| 結論 | 320 |
| 28 敗血症と ECMO | 323 |
| はじめに | 323 |
| 適応 | 324 |
| 禁忌 | 324 |
| カニュレーション | 325 |
| ECMO の管理 | 328 |
| アウトカム（転帰） | 330 |
| 結論 | 331 |
| 29 肺移植前後における ECLS | 335 |
| 要約 | 335 |
| はじめに | 335 |
| 肺移植前の ECLS | 336 |
| ECLS のモード——機器構成 | 336 |
| 高二酸化炭素血症性呼吸不全 | 336 |
| 低酸素性呼吸不全 | 338 |
| 低酸素性呼吸不全と循環不全 | 338 |
| 肺高血圧と右心不全 | 339 |
| 患者管理 | 340 |
| アウトカム（転帰） | 340 |
| 周術期における ECLS | 341 |
| 肺移植後の ECLS | 342 |
| 結論 | 343 |

| | | |
|----------------------------|-------------------------------|-----|
| 30 | ECMO 患者に対する心臓カテーテル挿入手技 | 347 |
| はじめに | 347 | |
| ECMO による左心減圧 | 348 | |
| 高リスク心臓カテーテル手技を補助するための ECMO | 350 | |
| まとめ | 351 | |
| 31 | ECLS の将来 | 353 |

第V部 ECLS のロジスティックスと合法性

| | | |
|-------------------------|--|-----|
| 32 | 集約化とトリアージ | 355 |
| ECMO センターの条件 | 355 | |
| 集約化の利点 | 355 | |
| 症例数とアウトカム（転帰）の関係 | 355 | |
| 集約化システム | 357 | |
| 推奨 | 357 | |
| ECMO 適応患者のトリアージ | 358 | |
| 33 | ECMO 患者の搬送：要旨から適応まで | 365 |
| はじめに | 365 | |
| 病院間 ECMO 搬送の歴史 | 365 | |
| 施設間搬送の支援 | 368 | |
| 高度が膜のガス交換に及ぼす影響 | 376 | |
| 搬送中の緊急事態に対する認識と対応 | 376 | |
| 軍の ECMO 搬送と戦闘負傷者治療の教訓から | 377 | |
| 病院間搬送の結果 | 380 | |
| 病院内での搬送 | 381 | |
| 結論 | 386 | |
| 34 | ECMO の運用とトレーニングにかかわる諸問題、および質の維持 | 389 |
| はじめに | 389 | |
| 必須の病院サポートの構成要素 | 389 | |
| ECMO チーム構成 | 391 | |
| 教育のプロセス | 393 | |
| 標準的コンピテンシーの維持 | 399 | |
| まとめ | 403 | |
| 35 | ECLS の経済 | 405 |
| はじめに | 405 | |
| コスト | 407 | |
| 請求と償還 | 411 | |
| ECMO による目に見えない費用と利益 | 413 | |
| 治療を行う価値はあるのか | 414 | |
| 36 | ECLS における規制と法的見解 | 417 |
| はじめに | 417 | |